

国勢調査から見る天草市

令和2年10月に行われた国勢調査により、本市の人口や世帯数などの状況が明らかになりました。

今号では、その調査結果をお知らせします。

問 政策企画課 ☎27-5052

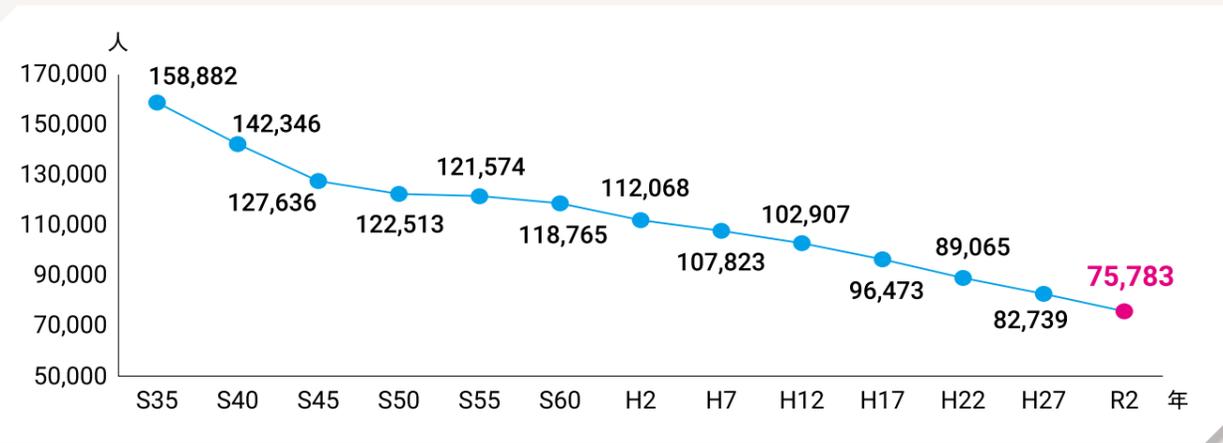
主な内容

人口・世帯数

市の人口推移

昭和35年には約16万人（旧2市8町の合計）だった本市の人口は年々減少を続け、令和2年の調査では7万5,783人となりました。前回の調査（平成27年）から6,956人減り、昭和35年からの60年間でみると人口がほぼ半分に減少したことになります。

▶ 人口の推移（各年国勢調査の結果） 資料①



人口規模（県内）

本市の人口は、県下45市町村のうち熊本市、八代市に次いで第3位の規模で、県内人口の4.4%を占めています。

▶ 県内人口の上位5市 資料②

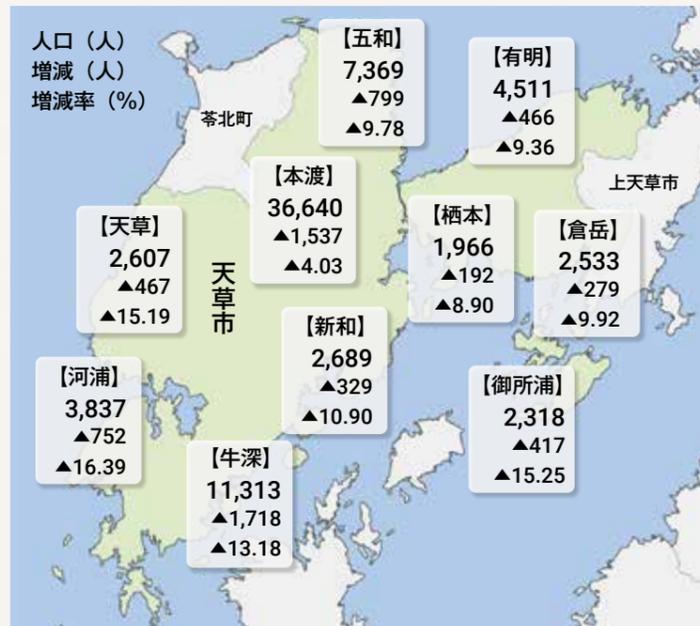
市名	総数(人)	増減(人)	増減率(%)
熊本市	738,865	▲1,957	▲0.3
八代市	123,067	▲4,405	▲3.5
天草市	75,783	▲6,956	▲8.4
玉名市	64,292	▲2,490	▲3.7
合志市	61,772	3,402	5.8
熊本県	1,738,301	▲47,869	▲2.7

※増減は前回調査（平成27年）との比較

地域ごとの人口

地域別にみると平成27年から全ての地域で人口が減少し、牛深・御所浦・新和・天草・河浦地域は10%を超える高い減少率となりました。

▶ 地域別人口 資料③



人のうごき

9月末日現在

9月中の異動		※()内は前月比	
人口	75,410人 (111減)	出生	17人
男	35,587人 (58減)	死亡	114人
女	39,823人 (53減)	転入	102人
世帯数	36,388 (7減)	転出	116人

問い合わせ先

本庁 | 天草市役所 ☎23-1111
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支所 | 牛深☎73-2111・有明☎53-1111
御所浦☎67-2111・倉岳☎64-3111
栖本☎66-3111・新和☎46-2111
五和☎32-1111・天草☎42-1111
河浦☎76-1111



☎…郵送先 ㊟…申し込み先 問…問い合わせ先
M…メールアドレス ※申請書などは㊟に備え付け。

- 2 目次/市長コラム
- 3 国勢調査から見る天草市
- 8 令和3年度決算報告
- 12 いきいき健康
- 14 暮らしの情報
- 29 天草文化財探訪/天草見どころ図鑑
- 30 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み〜つけた!
- 31 ハッピーバースデー
- 32 宝島のわだい
- 34 キラリ天草人
- 35 市民のひろば
- 38 お出かけ情報/潮汐
- 39 休日在宅病(医)院
水道修繕当番店/献血日程
- 40 1人で悩まずに、ご相談ください

市長コラム

Mayor's Column

～あまくさシルバーファッションショー～



あまくさシルバーファッションショーが3年ぶりに開催されました。それも記念すべき10回目。出場資格が80歳以上というこのショーは社会福祉協議会が主催するもので、今回は24人中3人が100歳超え。最高年齢103歳の方が着物姿で登場されると会場もどよめき、あちらこちらで感嘆の声。このショーの見どころは、高齢者の華やかな姿と出演者の思い出やエピソードを写真で紹介する司会者のナレーション。「天草に嫁いできて最初は毎日泣いていたけど、この天草で本当に良かった。すごく幸せです」とのコメントを聞いたとき、改めて素晴らしいこの天草を美しく幸せな状態で未来へとちゃんと引き継いでよ!!と人生の大先輩に背中をポンッとされたようでした。出演者と応援団、みんなの笑顔がはじける幸せな時、これからもずっと続きますように。

介する司会者のナレーション。「天草に嫁いできて最初は毎日泣いていたけど、この天草で本当に良かった。すごく幸せです」とのコメントを聞いたとき、改めて素晴らしいこの天草を美しく幸せな状態で未来へとちゃんと引き継いでよ!!と人生の大先輩に背中をポンッとされたようでした。出演者と応援団、みんなの笑顔がはじける幸せな時、これからもずっと続きますように。

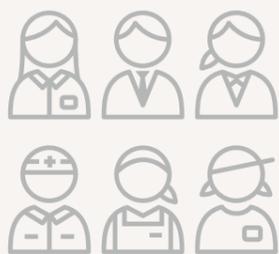


労働力の状態

労働力人口

労働力人口（15歳以上で働ける状態にあり、働く意思がある人）は36,472人となっています。（資料⑧）

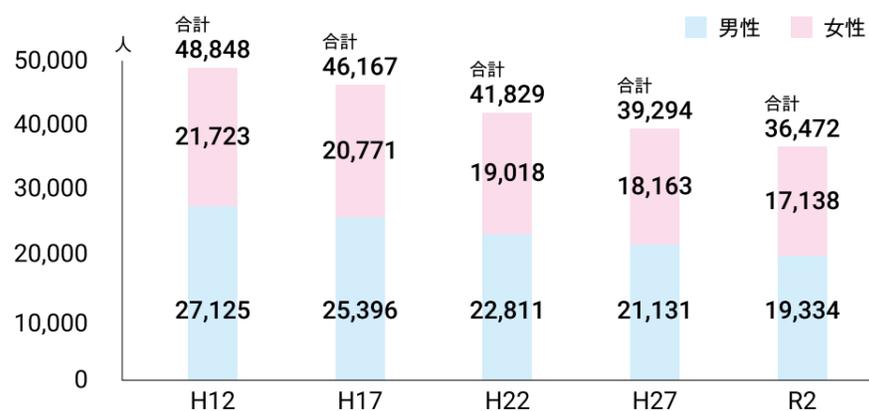
前回調査に比べ2,822人（7.2%）減少しました。また、男女別では男性が1,797人（8.5%）、女性が1,025人（5.6%）減少しています。（資料⑨）



▶ 労働力人口（人） 資料⑧

	労働力人口	総数	就業者				完全失業者
			主に仕事	家事のほか仕事	通学のかたわら仕事	休業者	
総数	36,472	35,076	30,717	3,504	62	793	1,396
男	19,334	18,428	17,451	506	22	449	906
女	17,138	16,648	13,266	2,998	40	344	490

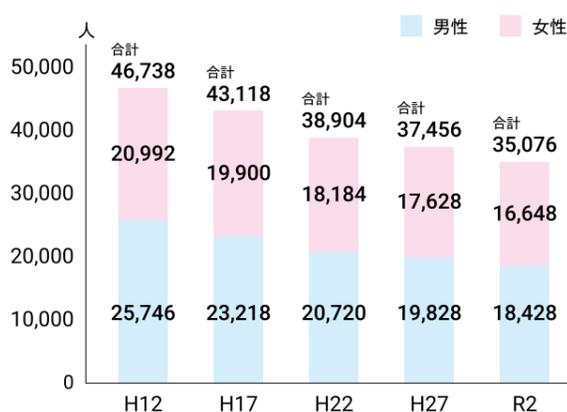
▶ 労働力人口の推移 資料⑨



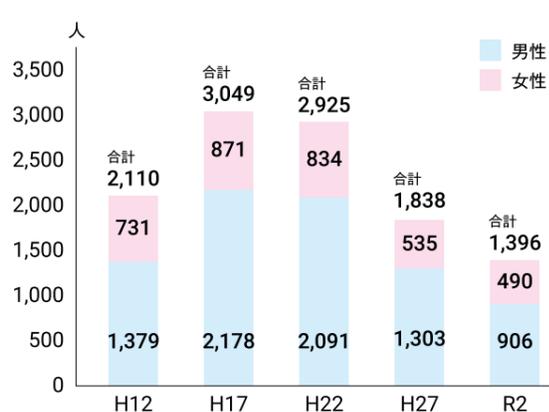
就業人口

労働力人口のうち就業者の総数は前回調査に比べ2,380人（男性が1,400人、女性が980人）減少。（資料⑩）完全失業者数は前回と比べて442人減少しています。（資料⑪）

▶ 就業者数の推移 資料⑩



▶ 完全失業者数の推移 資料⑪

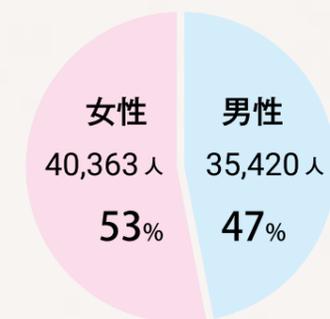


男女別人口

男女別にみると女性が男性より約5,000人多くなっています。

また、女性を100とした場合の男性の比率は87.8となっています。

▶ 男女別人口の総数 資料④



年齢別人口

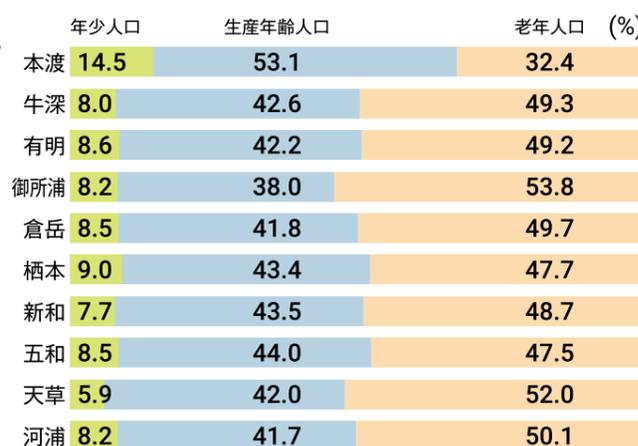
年齢（3区分）別の人口割合をみると、年少人口（15歳未満）は11.2%、生産年齢人口（15歳～64歳）は47.6%、老年人口（65歳以上）は41.2%となっています（※年齢不詳除く）。前回と比べて年少人口と生産年齢人口がそれぞれ低下し、老年人口の割合が上昇していることから、より高齢化が進んでいることがわかります。（資料⑤）

地域別に見ると、本渡地域以外の全ての地域で老年人口が40%を超え、さらに御所浦・天草・河浦地域では50%を超える高齢化率となっています。（資料⑥）

▶ 年齢（3区分）別人口割合の推移 資料⑤



▶ 各地域別年齢（3区分）別人口割合の推移 資料⑥

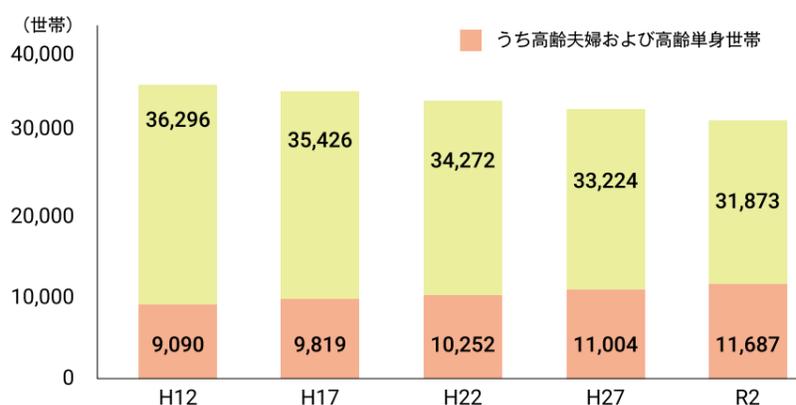


世帯の状況

総世帯数は31,873世帯で、前回に比べて1,351世帯減少しました。

一方で、高齢夫婦（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯）および高齢単身（65歳以上の1人世帯）世帯数は11,687世帯となり、683世帯増加しています。

▶ 総世帯数および高齢夫婦・高齢単身世帯数の推移（R2） 資料⑦



調査結果による将来予測

国勢調査では、人口や世帯数、就業状態などの貴重な結果が得られます。また、過去の結果と比較することで、人口の推移や産業構造などさまざまな分析が可能となるため、行政だけでなく民間企業や研究機関でも広く活用されています。ここでは、調査結果から推計される本市の将来人口を紹介します。

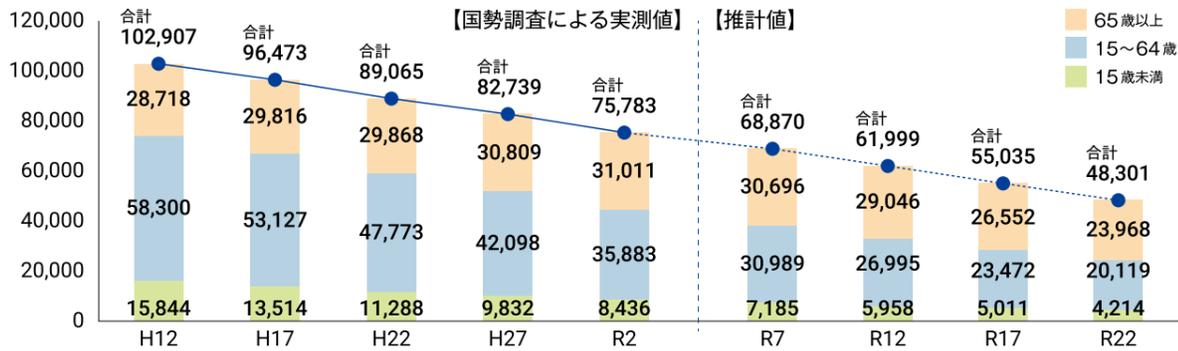
※平成27年からの5年間における推移が今後も続くものと仮定して人口を推計する“コーホート変化率法”を用いて算出しています。なお、社会状況の変化などにより、将来このように推移するとは限りません。

将来の総人口

人口は、令和2年以降5年間で約6,900人ずつ減少し、20年後の同22年には48,301人になると推計されます。

将来人口予測と3区分別人口の推移

資料 15



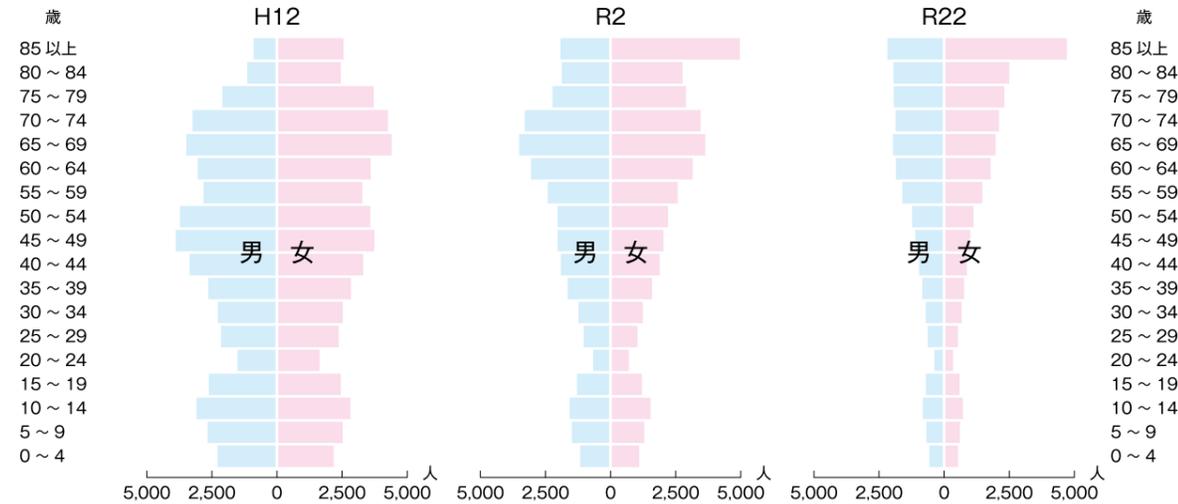
※実測値の3区分別人口は年齢不詳分を含まないため、人口合計と一致しない場合があります。

人口の構造

各年齢層の人口構造を表す人口ピラミッドで見ると、平成12年から若年層の減少や高齢者の増加に伴い形が徐々に変化し、令和2年から22年にかけて逆三角形となり、より少子高齢化が進む見込みです。

人口ピラミッドの推移

資料 16



国勢調査は、基幹統計の中で最も大規模な調査です。調査の詳細な結果は、市ホームページに掲載していますので、ご活用ください。調査へのご理解とご協力ありがとうございました。

市ホームページ



産業別および年齢別の産業3部門別就業者数

就業者数を3部門別の割合で見ると、第1次産業が4,294人（12.3%）、第2次産業が5,832人（16.7%）、第3次産業が24,815人（71.0%）となりました。（資料⑫）

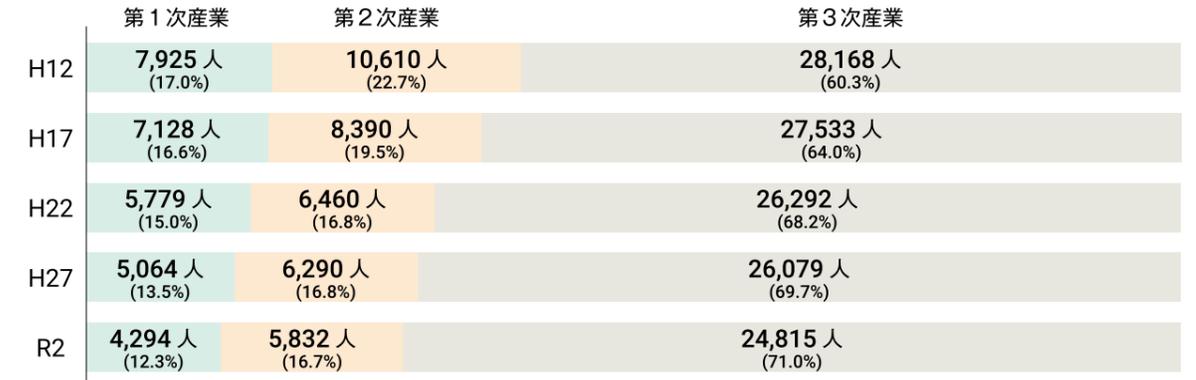
産業大分類別では医療・福祉が7,801人と最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業などの順となっています。（資料⑬）

また、産業別3部門の就業人口を年齢別（5歳階級別）に見ると、第1次産業では70～74歳、第2次産業では60～64歳が最も多く、ともに高齢化が進んでいます。（資料⑭）

産業別（3部門）就業人口と比率の推移

資料 12

※分類不能の産業を除く



産業大分類別就業人口

資料 13

区分	産業分類	就業者	区分	産業分類	就業者
第1次産業	農業	2,630	第3次産業	不動産業、物品賃貸業	220
	林業	127		学術研究、専門・技術サービス業	510
	漁業	1,537		宿泊業・飲食サービス業	1,709
計	4,294	生活関連サービス業・娯楽業		1,238	
第2次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	17		医療、福祉	7,801
	建設業	3,069		教育、学習支援業	1,505
	製造業	2,746		複合サービス事業	818
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	198		サービス業（他に分類されないもの）	1,857
	情報通信業	107		公務（他に分類されるものを除く）	1,565
	運輸業、郵便業	1,269		計	24,815
	卸売業、小売業	5,448	分類不能の産業	135	
	金融業、保険業	570	合計	35,076	

年齢別産業3部門別就業人口

資料 14

は各産業で多い年齢 (人)

年齢	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	85歳以上	総計
第1次産業	6	58	85	133	172	233	237	295	339	542	692	727	413	253	109	4,294
第2次産業	49	224	239	320	478	515	545	584	740	862	728	382	104	44	18	5,832
第3次産業	146	795	1,476	1,691	2,230	2,664	2,801	2,808	3,141	2,994	2,122	1,201	449	209	88	24,815